

柔道整復演習Ⅳ		講義	准教授 伊藤 新
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12371402

1. 授業のねらい・概要

この科目は、柔道整復師国家試験対策の授業を行う。柔道整復学下肢の骨折、脱臼、軟部組織損傷の範囲を対象として、国家試験でよく出題されている内容やキーワードを説明する。また国家試験の傾向をつかみ、問題をしっかり解けるようになることをねらいとする。

2. 授業の進め方

Power Point を用いたスライドによる授業を行う。毎講義ごとのテーマに合わせて国家試験問題を解きながら、その解説も行う。

3. 授業計画

1. 骨盤骨折	9. 足根骨骨折
2. 大腿骨近位端部骨折	10. 中足骨・足趾骨骨折
3. 大腿骨骨幹部骨折	11. 股関節脱臼
4. 大腿骨遠位端部骨折	12. 膝蓋骨脱臼
5. 膝蓋骨骨折	13. 膝関節脱臼
6. 下腿骨近位端部骨折	14. 足部および足趾部の脱臼
7. 下腿骨骨幹部骨折	15.
8. 下腿骨遠位端部骨折	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容である下肢外傷の受傷機転や症状、整復法、固定法、合併症についてテキストを用いて予習し、疑問点などを明確にしておく。この準備学修には2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後もしくは授業内で説明する。

6. 授業における学修の到達目標

国家試験でよく出題されているキーワードを把握し、内容を理解しながら問題を解き、解説できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験を実施し評価する（100%）。

8. テキスト・参考文献

- ①柔道整復学・理論編改訂7版 社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ②柔道整復学・実技編改訂2版 社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ③絶対出る！柔道整復師国家試験重要問題 柔道整復学下肢・総論編 医歯薬出版
- ④必要に応じて各項目の重要ポイントを補足資料として配布する。

9. 受講上の留意事項

私語およびスマートホンの使用、飲食、帽子の着用は禁止とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、整形外科における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。